

2014年(平成26年)3月15日

相愛中学校

校長 安井 大悟

## 卒業式式辞

梅の花は寒い中に気高く咲くところから、古来「忍耐強く学ぶ知性の象徴」とされた花であります。その梅が香り、だいぶ春めいてまいりました本日、第67回相愛中学校卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、津村別院より菅義成ご輪番ならびに同窓会、育友会各会の会長のみなさまと多数の来賓のご臨席を賜り、理事長、学園長ともども有難く感謝申し上げます。

卒業生55名のみなさま、ならびにご列席くださいました保護者のみなさま、相愛中学校の課程を修了され、ご卒業なさることを心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

さて私の式辞は一ヶ月余り前のこと、国語科の田寺先生からいただいた一冊の本に関する話題から始めたいと思います。この本は、『父に聞く松坂屋に見る百貨店の繁栄と衰退』と題された、田寺先生ご自身の文章が掲載された『インタビュー』という本です。この文章から田寺先生のお父様と私の意外な接点、ひょっとしたらお目にかかっていた可能性もあるのでは、と思わしめるものでした。

自坊から 400 メートル程の距離にその松坂屋京都店はありました。今はとりこわされホテルになりましたが、新町通りという祇園祭で賑わう鉾町にあり、京町屋の格子が見事な二階建ての建物で、子ども心に百貨店なのに売場も何もない店はなぜかなと不思議に思っていた記憶があるのです。田寺先生のお父様は、ここに三年程配属されていたこと、ここは着物の染や織の研究を兼ねた仕入れ店だったことが、田寺先生によるお父様へのインタビューで明らかになったのでした。

さて、この『インタビュー』の冊子は授業を通して完成されたものですから、卒業するあなた方の何人かが投稿してくれています。消防士さん・秋田犬のブリーダーさん・漆、蒔絵工芸師さん・冷凍冷蔵庫屋さん・着物アドバイザーさん・花博コンパニオンさん・マグロ中卸さん・住職さん・ジャズマニアさん・コンビニ自営業さん・銀行員さん・幼稚園の先生・イオン社員さん・昭和二十年代の小学生さん・ふとん屋さんが紹介されています。

インタビューに共通することを挙げてみましょう。まず、感想文ではないことです。中学三年生の子どもたちのこと、自分の知らない世界に目をみはります。それが遠い昔のことであれ現代のことであれ、とても新鮮に受けとめます。これは、情報を集める力、そしてまとめる力にあたる能力です。文部科学省が今、日本の子どもたちにつけ

るべき能力の第一番目に挙げておりますので、この授業は大変すぐれた実践記録であると私は評価いたしました。

そしてもう一つ、どの文章も家族愛にあふれ、その家族の構成員の一人として自分があることに感謝し、誇りを持っていることです。家族のあたたかさが、絆が、だまって見守ってくださる頼れる家族や親戚のおっちゃんが身近に存在するのですね。心あたたまる作品を頂戴いたしました。

中学の教育課程を無事終了してそれぞれの進路に向かって歩み出そうとしているあなたたちですが、今日は約束してください。今日まで育ててくださったご家族に「ありがとう」を言いましょう。「卒業おめでとう」の言葉を聞く前に先に言って欲しいですね。いいですか。

最後に日々の糧から引用して式辞を終えたいと思います。

14 日夕

私たちは 多くの人々との  
つながりの中に生きている  
あなたも わたしも  
一人 一人  
尊いいのち  
かけがえのない人生